

事例紹介

緊急雇用創出事業 【子育て分野】

「保育園に遊びに来ませんか？」事業は、【第3保育園にあ(・)つ(・)ま(・)れ(・)！】を合言葉に、来年度市立保育園入園予定のお子さんと保護者を対象に、専任の保育士が保育園の紹介・保育の見学と参加・入園準備・育児相談などを行いながら親子のふれあいの場も提供しています。今回の取り組みが、入園予定のお子さんと保護者の方にとり有意義な場となれば、今後も雇用を継続でき、就園前の子育てが支援できると期待しています。



富士吉田市子育て支援課
課長 萱沼 晴美

事業概要

毎年6月から翌年3月迄「園庭開放」と週1回の「保育園に遊びに来ませんか」事業を実施し、就園に向けての準備と育児相談や親子のふれあいの場を提供している。しかし、保育事業を行いながらの為十分な対応が行えない現状である。そこで専任の保育士を雇用し利用率の高い第3保育園に配属し就園前の子育てを支援する。

実施先

富士吉田市第3保育園
入園児 135名

新たな
雇用創出数

1人

事業費

約148.3万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年7月～

保育内容

- ・ 施設、行事、保育園等の見学
- ・ 3歳未満児クラスにて園児との交流
- ・ わらべうたあそび
- ・ 室内、戸外でのあそび
- ・ 廃材を使って簡単なおもちゃを親子で作って遊ぶ

山梨県
富士吉田市



完全失業率は5%を超えている状況



富士と富士吉田市の町並み



《今回の舞台、市立第三保育園》

子どもの声

お家に帰りたくないなー。
もっと友達と遊びたいよ～ \(\^o^)/



保育士
天野 里恵

就園前に保育園の様子を知りたい・日中、子どもと家で過ごすことが多い・悩みを相談できる人が周りにいない等、様々な理由を抱えた親子が来ています。就園準備や安心して相談できる子育て支援の場として、明日への育児へとつなげるお手伝いが出来ればと思います。



《いっしょに遊ぼ(\^o^)/》

保護者からの声

子育ての悩みの相談が出来た。
他の親御さんたちと交流ができてよかった。

この子、いつも私と家にいることが多くて・・・
保育園に入ったら、友達といっしょに遊べるかなあ
泣かないかなあ、と心配なんです。



《親御さんも一安心》

期待される効果

就園前の親子に対し専任の保育士を配属する事で従来対応不可能であった様々な内容に柔軟に対応でき就園準備とともに安心して子育てできる環境づくりが整備される。



第三保育園 園長 出 栄子

地域の子どもたちにとっては遊びの場の広がり、園児との交流、親にとっては親同士の交流、育児相談が出来ることで育児に対して安心感が持てたり、保育園の様子がわかる等、子育て支援に貢献する事業だと思います。今後も事業継続を期待します。



《みんなでお集まり》